

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 まつみ福祉会	代表者	松岡 満照	法人・ 事業所 の特徴	他の小規模多機能型居宅介護事業所と違い、当事業所は「共に生きる町」の事業所 ということから、年齢層や障がいを超え、沢山のひととの出会い、繋がりが持てます。 そのことで、利用者一人一人が自分なりの役割を担うことができます。 ここは事業所というより、小さな社会、大きな家族です。皆、助け合い、支え合って 生きています。
事業所名	花日和2号館	管理者	玉城 剛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	4人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の 確認	改善計画内容確認、進捗状況を職 員会議で確認し対応していける よう取り組む。	職員会議開催時に改善計画の進 捗状況を確認したことで、出来て いる事、出来ていない事を職員間 で共有することが出来た。	職員会議でサービス評価のこと について話し合いが出来れば自 己評価や事業所評価がしやすく なるのでは？しっかりと計画を たてて活動していくうえで、会議 時には職員全員で確認を出来る ようにお願いします。	職員会議で改善計画の進捗状況 を確認することを継続する。
B. 事業所の しつらえ・環境	花壇の整備を利用者と一緒に行 い、花や植物で事業所を明るくす る。	花壇の水やりや整備は出来たが、 毎回同じ利用者が担当になって しまった。育てた花を摘んで室内 に飾ったことで、利用者の会話に 花について話すことが増えた。	1階の花壇の植物がしっかり育 っています。以前は殺風景でした が花や緑があるだけでも雰囲気 がだいぶ変わります。	花壇や畑の整備を継続し、野菜作 りに挑戦する。その野菜を使って おやつ、食事に活用する。 <i>記録のす。</i>
C. 事業所と地域の かわり	日常で地域との関りがあった場 合には記録に残し、運営推進会議 議事録で報告する。	地域行事に参加はして議事録で の報告をしたが、個人的な地域 の方々との関りは口頭説明のみに なり記録に残していない。	地域の清掃、草刈りはみんな高齢 者で人数も少ないが職員が来て 手伝ってくれて助かっています。 介護保険のことがよく分からない 友達が花日和へ話を聞きに行 ったことがある。	地域活動の参加以外にも、地域の 方々との小さな関りを大切にす る。関わったことは些細なこと でも良いので運営推進会議議事 録に記録する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	「希望叶え隊」の一環で、利用者 に対し地域行事、故郷巡り、外食 等の外出支援を企画し出来る範 囲で実施し思い出を増やす。	昔仕事をした農連市場、牧志公設 市場に行きたい、昔パーティーで 食べたピザが食べたい、孫と一緒 に行ったハンバーガーを食べた い等の希望を叶えることが出来 た。その写真を事業所内で展示し 振り返ることが出来た。	外食や外出はなかなか家族で行 けないので助かります。外出する ときの注意点を聞き、今度孫やひ 孫と外出したいと思いました。	「希望叶え隊」を継続して行い、 写真をたくさん撮る。撮った写真 で個別アルバムを作成し令和6 年12月の忘年会でプレゼント する。

E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域の民生委員に地域の困っている方、地域の事を伺い、その情報を運営推進会議で報告する。	民生委員に地域で困っている方、地域での出来事などを伺い、運営推進会議で報告することが出来た。	コロナやインフルエンザ感染が多くなっているが、無理なく会議を開催するように願っています。	職員2名が民生委員になったので、地域とのより良い連携、協力が出来よう意見交換を密に行う。地域の問題点や関りを運営推進会議で報告する。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練の継続と職員のBCPに対する知識向上と整備を行う。	職員全員がBCPに対する研修に参加することが出来た。また、職員一人が石川県に介護ボランテニアに行き、活動報告書を確認しメテニア等では知ることが出来ない災害時の介護について知ることが出来た。	BCPのことがいまいち分からないうので、説明があれば助かります。	防災訓練をしっかりと計画、実施する。その訓練のうち1回は運営推進会議メンバーに参加していただけるよう調整する。

振込する所は、
4月期

図22-20に示すように、
#2211000